



平成 25 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社トクヤマ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 幸後 和壽
(コード番号 4043 東証 1 部)
問合せ先 広報・IRグループ 松 本 良 文
(T E L 03-6205-4832)

(訂正) 繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせの一部訂正について

当社は、本日平成 25 年 2 月 5 日 11 時 30 分に開示いたしました「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ」の記載内容につき一部誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。

記

1. 訂正の内容

代表者 幸後 和壽の肩書につき誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。

(訂正前)

代表者名 代表取締役 幸後 和壽

(訂正後)

代表者名 代表取締役 社長執行役員 幸後 和壽

以上



平成 25 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社トクヤマ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 幸後 和壽
(コード番号 4043 東証 1 部)
問合せ先 広報・IRグループ 松 本 良 文
(TEL 03-6205-4832)

繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期の第 3 四半期累計期間において、繰延税金資産の取崩しを行うこととしましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績を踏まえ、平成 24 年 10 月 31 日に公表した平成 25 年 3 月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社の主力事業である多結晶シリコンについては、太陽電池関連部材の供給過剰及び半導体関連部材の在庫調整等を背景にして、急速に事業環境が悪化しております。

多結晶シリコン事業の今後の見通し及び当期の業績予想等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、平成 25 年 3 月期の第 3 四半期累計期間において、その一部を取崩し、法人税等に 76 億円を計上いたします。

2. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常損益	当期純損失	1 株当たり 当期純損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	260,500	3,000	△1,500	△2,500	△7.19
今回修正予想 (B)	258,500	4,000	0	△11,500	△33.05
増減額 (B - A)	△2,000	1,000	1,500	△9,000	—
増減率 (%)	△0.8	33.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	282,381	13,720	11,524	9,351	26.87

3. 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	経常損失	当期純損失	1 株当たり 当期純損失
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	166,500	△5,000	△5,000	△14.37
今回修正予想（B）	164,000	△3,000	△12,000	△34.49
増減額（B－A）	△2,500	2,000	△7,000	－
増減率（％）	△1.5	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 3 月期）	185,099	8,538	8,497	24.42

修正の理由

通期個別業績予想につきましては、売上高はほぼ予想通りとなる見込みです。経常損失は、為替差損の減少等で予想より改善する見込みです。また、当期純損失は、経常損失の修正理由はありますが、上述の繰延税金資産の取崩しにより、予想から大幅に悪化する見込みです。

尚、個別業績予想につきましては、営業利益は開示しておりません。

連結業績予想につきましては、営業利益は、太陽電池向け多結晶シリコンにつき利益を重視した販売戦略を取ったこととセメント事業の合理化を推し進めた結果等により、予想を上回る見込みです。経常損益、当期純損失の修正につきましては、個別業績予想の修正理由によるものです。

そのため、平成 24 年 10 月 31 日に公表した業績予想を修正いたします。

なお、具体的な収益改善計画については、後日改めて説明させて頂く予定です。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上